

ざ・神港労連

火曜日

2024年10月8日

発行元 神戸港湾組合連合会教育宣伝部



第67回神港労連定期大会、神戸フルーツフラワーにて開催!!

2023年度活動を総括し、2024年度運動方針を確立に向け団結!!

2024年10月8日～10月9日にかけて神戸フルーツフラワーにて、第67回神港労連定期大会が開催した。大会構成として役員20名・代議員45名・オブザーバー8名・特別執行委員として竹内 一様(日港労連中央執行委員長)・高島 弘司様(全国港湾書記次長)・古澤 隼実様(日港労連書記次長)また御来賓では日港労連より岡部 正浩様(日港労連書記長)・全日検労働組合より稲田 年弘様・神戸港湾労働組合協議会より西澤 昭徳様・全日本港湾運輸労働組合同盟・兵庫地本より梶山 祐史様(執行委員長)に御臨席を賜り議事運営を行った。

吉岡執行委員長から、定期大会開催にあたって御挨拶を申し上げられた。
「厳しい現場環境の中、命懸けで作業に従事し本年に至っては、記録的な猛暑の中、安全作業で乗り越えられたことに対し、組合員の皆様に敬意を表するとともに、御礼を申し上げます。
神戸港の情勢について、ポートアイランド地区にて、PC13からPC17の一体利用が発表され、拡張後のK1



C.Tは西日本最大のコンテナターミナルとなりますが、再編・集約に伴う雇用不安など起きないように注視していかねばなりません。

また、RTGの遠隔操作、自動化をはじめとした様々な港湾政策に翻弄され続けている中、專業労働組合の運動の根幹は、現場で働く組合員の雇用と職域を守り、安心して働ける労働環境の確保と安全な職場を構築する事が一番であります。

そして、労働組合の大きな役割が、組合員の生活向上への取り組みである中、昨今のエネルギー価格の高騰により、様々な生活物資の値上げが続き、我々の生活を圧迫させている。今年の春闘に於いては、料金検証を行い各社しっかり収受し、価格転嫁に基づいて大幅賃上げを確保しました。

我々、労働組合はこれまで諸先輩方が命をかけて守ってきた港湾秩序を維持継続し、安心・安全な港であり続ける為にも努力していく所存であります。

その為には、更なる団結力の強化と組合運動への御理解と御協力を皆様賜りたいと思います。

神戸港湾労働組合連合会
執行委員長 吉岡 幸治

また本大会の議事進行に至り、議長団の大役を担って頂いたのは、

中央港運労働組合

長谷川代議員(右側)

甲陽運輸労働組合

岩切代議員(左側)

の両名にて、円滑な進行の基、議事運営に務められた。大変、ご苦労様でした。



議事次第に沿って、23年度活動経過報告・23年度会計監査報告・24年度運動方針案・24年度会計予算案について報告を行い、代議員の確認を以って承認されました。

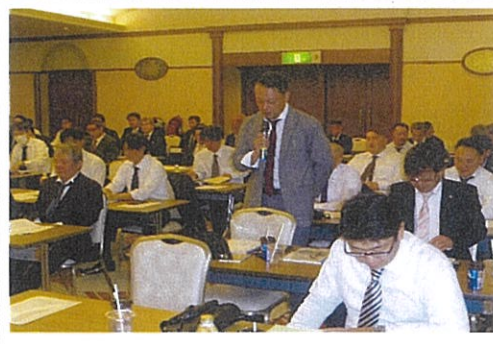
代議員からの質疑

「福利厚生について」

神港労連に対しての要望として、ピアハウスオアシスの朝の開店時間の変更をして頂きたいのと、港湾作業員と一般の利用者との差別化を図って頂きたいと思ひ、港湾の福利厚生協会という事を鑑みて頂き、御検討の程宜しくお願ひ致します。

甲陽運輸労働組合

澤田代議員



執行部より答弁!!

港湾の為の福利だと認識しています。福利厚生協会と早急に協議し、改善に向け取り組みたいと思ひます。

「定年延長と退職金改定」

現在、産別協定にて62歳迄定年延長が実施されていますが、定年延長の対象となり引き続き港湾労働に従事される先輩方は、通減措置として3割減の賃金体系によって雇用されています。しかし、現場での作業内容は変わらず、賃金面・体力面と厳しく苦しい状況下にさらされています。

24運動方針案にも謳われている様に、60歳を過ぎる賃金体系と環境整備を示して頂きたく切望致します。

ひいては、日港労連・港荷労協で協定化して頂かなければ個別労使では厳しいのが実情であります。

退職金改定について、14港荷春闘協定が存在し、協定不履行の状況から改定に向け、速やかに是正に努めて頂き、正しい労使関係の再構築を強くお願い申し上げます。

神菱港運労働組合

八尾代議員

4月25日第3回港荷団交の前段に於いて、港荷労使継続課題専門委員会が開催され、定年延長について2020年2月20日付「確認書」第1項について専門委員会で「議事確認」を基に周知徹底を図り履行する旨を確認している事から、基本的なガイドラインは上部団体から降りてきてはいるが、各社の体力の問題等があり労使が納得する形を作るのは、統一回答として困難であり各労使協議にて行ってもらうしかないと考えています。しかし、協議が暗礁に乗り上げた際、神港労連としても



執行部より答弁!!

改善に向け、共に取り組む所存でございます。
また、退職金改定について2017年を目途に改定協議が進んでいないことは明白であり、議案書に記述してある通り、現在港荷労使専門委員会にて協議中ではあるが、定年延長と密接な関係性であり、独禁法にも抵触する恐れがある事から慎重に取り組んでいる状況であります。

「春闘の賃上げについて」

近年、物価高騰が続く中、組合員の生活を守る為、料金改定は喫緊の課題であると考えております。春闘の賃上げに向けて、いま国が料金値上げを推進している状況を鑑み早期に料金改定を実現し組合員の賃上げに繋げたいと考えます。

各元請け・船社に価格転嫁に向けた活動を行っているのは認識していますが、具体的な合意点などは出ているのでしょうか？

また組合店社として価格転嫁の遅延問題に対して、どのような交渉を行っているのかお聞かせ

ください。以上よろしく
お願い致します。
(サンソー港運労働
組合 川寺代議員)



執行部より答弁!!

地区労使として、関係元請には下払い料金をしっかりして頂くよう要請し、料金検証を9月末日としてあり、9月30日に兵庫県港運協会から各会員店社下払いが完了した報告を受けております。また、全国港湾の春闘要求にあるよう認可料金の確保に向け、料金プロジェクトチームを積極的に稼働しているところあります。



大会スローガンの提案
川西港運労働組合
植村代議員



大会宣言(案)の提案
上津港運労働組合
島代議員

以上、全ての議事を無事終了し、24年度新役員体制を以って運営していくと確認し、第67回神港労運定期大会を閉会しました。

二〇二四年度
神港労運役員名簿

- 執行委員長 吉岡 幸治
- 副執行委員長 松田 行生 芦田 邦秀
- 書記長 大石 浩二
- 書記次長 菊屋 優彰
- 書記次長兼会計 榮 恵輔
- 執行委員 宮西 孝治 神崎 修治 大西 輝彦 鈴木 貴香 吉田 峰令 森岡亮太郎 米野 彰真 杉村 喜久 川戸 努 岡崎 正良 吉岡 裕太
- 特別執行委員 竹内 一 高島 弘司 古澤 隼実
- 特別相談役 西川憲一郎



10月2日～3日にかけて開催された第47回神戸港湾定期大会にて、御来賓として日本港湾労働政策研究室 室長の糸谷 欽一郎様が御多忙の中、遠路お見えになられ参加されました。糸谷様に於かれましては、9月18日～19日にかけて開催された第17回全国港湾定期大会で、全国港湾顧問としての任期を完了され退任される事になりました。神戸港に関しても、全国港湾労働組合連合会の中執行委員長として御尽力して戴いた事に感謝を込め、日本港湾労働政策研究室 室長での御活躍と御健康を心よりお祈り申し上げます。略歴

全国港湾中央執行委員長 (2008年～2019年)

全国港湾顧問 (2020年～2023年)

2025年2月、ハパグロイドのライアンス移動に伴う各グループの新体制がスタートすることとなっている。マスクとハパグロイドによる「ジェミニ」・ONE、陽明海運、HMMによる「プレミアムライアンス」・MSCは、ZIMと太平洋航路でのスロット交換を始めとする運航となり、我々の雇用・職域に大きく係る事案となりうる事が想定できる。メガバス計画を抱える神戸港にとって注視していく必要があり、神港労連としても事前協議を以って慎重に取り組んでいかなければならない。

～編集後記～

身近なニュース・出来事があれば記事として取り扱いますので、神港労連事務所までご連絡ください。(取り扱いに関して事務局で精査した上で、掲載致します。)

078-371-5316
078-371-5340

